

御船寄

大分県・中津市



幕藩時代、藩船「朝陽丸」（藩主参勤の御座船）やこれに随行する御用船が係留されていた港で、「御船寄」と呼ばれていた。明治維新後から物資の流通が盛んになり、港周辺に料亭や旅籠が立並ぶほどの賑わいを見せていた。昭和10年に対岸の小祝に港が建設され、賑わいは廃れていったが、その後は中津市の漁船を係留する場所として利用され、現在でも当時の面影を伝える玉石積みの突堤が、漁港船溜まりの一部として残されている。「御船寄」は、中津藩の歴史を考えるうえで重要なことから、平成14年10月21日に中津市指定文化財（史跡）に指定された。

「御船寄」を偲ぶものとして、「御船歌」がある。御座船の出港の際などに羽織袴を着てこの唄を歌ったもので、全国各地で歌われていたものであるが、今では中津の下正路町だけに受けつがれ、中津祇園のときに歌われている。

TOPICS

- ・中津祇園 7月下旬開催
- ・鶴市花傘鉾祭 8月下旬開催
- ・特産品：梨、ぶどう、諭吉ブロッコリー、味一ねぎ、三光桃、そばまんじゅう、茶、木工芸 など

お問い合わせ先

中津市役所 産業振興部 農政水産課
TEL / 0979-22-1111
URL / <http://www.city-nakatsu.jp/>

【交通】

徒歩 / JR中津駅から約25分

